

授業科目名(英文名) /Course Title	特殊講義 情報化社会と働き方革命		
担当教員(所属)/Instructor	柳原 佐智子(経済学部)		
授業科目区分/Category	専門教育科目 昼間主開講科目		
COC+科目/COC+Course	-	授業種別/Type of class	講義科目
開講学期/Period	2018年度/Academic Year 前期・その他	対象所属/Eligible Faculty	
時間割コード/Registration Code	138003	対象学年/Eligible grade	2、3、4年
ナンバリングコード/Numbering Code		単位数/Credits	2単位
オフィスアワー(自由質問時間) /Office hours	柳原 佐智子(前期月曜 2限 後期金曜 1限)		
リアルタイム・アドバイス/Real-time advice	更新日		
教科書は生協で販売しています。 初日(27日)の第2回(月曜3限目)から使いますから、その日の授業開始前やお昼休みに購入することができます。			
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学習目標)/Course Objective			
<p>授業のねらいとカリキュラム上の位置づけ</p> <p>企業経営において、従業員の働き方をどのように考えて能力を最大限に発揮してもらうかは経営者の勤めであり、従業員自身がキャリアを考えるにあたって仕事の場所や時間の管理方法や裁量性についてどのようにデザインするかが重要である。この講義では、その手がかりとして、政府が進める「働き方革命」を進める具体策としての「テレワーク」を、実際の事例と理論をたどることで、進展著しい社会の情報化に対応する「働き方」の多様性を考察する。</p> <p>なお本講義は、日本テレワーク学会関西支部の寄付講義である。</p>			
達成目標/Course Goals			
<ul style="list-style-type: none"> ・政府の考える多様な人材で構成する社会での働き方について理解する。 ・「テレワーク」について説明できる。 ・テレワークの条件に応じた利点と克服すべき問題点について説明できる。 			
授業計画(授業の形式、スケジュール等)/Class schedule			
<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション：社会的課題を解決するためのテレワーク 2. ふるさとテレワークが開く地方の可能性 3. 徳島サテライトオフィス・プロジェクトの意義 4. 地方創生におけるリゾートオフィスの役割 5. テレワークを生かせる人材と分野における取り組み 6. 企業実践における制度設計 7. 在宅勤務型テレワークの現状と課題 8. 危機管理を意識したテレワーク 9. 組織変革におけるテレワークの意義と効用 10. 少子高齢化時代の働き方における自律性 11. ダイバーシティ・マネジメントとしてのテレワークの意義 12. 日本のテレワークの過去・現在・未来 13. 情報システム研究としてのテレワークの課題 14. テレワーク研究の最前線 15. 試験および試験問題の解説とまとめ 			
<p>講義の順番は、受講者の状況等によって前後することがある。 講義は日本テレワーク学会関西支部会員がオムニバス形式で担当する。</p>			
授業時間外学修(事前・事後学修)/Independent Study Outside of Class			
政府の働き方改革に関するニュースを読む、教科書の当該箇所を読んで復習する。			
キーワード/Keywords			
テレワーク, 在宅勤務			
履修上の注意/Notices			
教科書・参考書等/Textbooks			
古賀広志・柳原佐智子・加納郁也・下崎千代子『地域とヒトを活かすテレワーク』同友館			
成績評価の方法/Evaluation			
<p>期末試験：80% (教科書持ち込み可)</p> <p>講義中の課題：20%</p> <p>これらを基準とした上で、取り組み状況等を勘案しながら総合的に評価します。</p>			
関連科目/Related course			
リンク先 URL/URL of syllabus or other information			
備考/Notes			
この講義は、集中講義として行います。			